

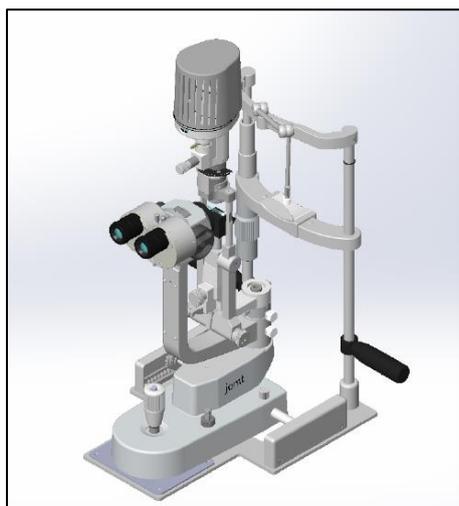
眼科医療機器産業の発展を目指して

～スリランカ国 眼科用細隙灯顕微鏡の製造術移転～

国際協力機構(JICA)は1月20日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社オーヒラ(新潟県南魚沼市、代表取締役 大平 廣司)が提案する「眼科用医療機器の製造技術移転に関する事業の基礎調査」(スリランカ)を採択しました。

スリランカは1人あたりGDPの低い途上国としては基本的保健指標が良く、平均寿命が延伸している結果、高齢化が進みつつあります。一方、眼科用医療の分野では医療機器の製造が未発達であるため、高齢者の発症率が高い白内障や緑内障の対策が求められています。

同社は長年の技術の蓄積により、眼病診断で都度使用される「眼科用細隙灯顕微鏡(スリットラン



プ)を高性能・かつ廉価で製造することを可能としました。スリットランプの導入が遅れているスリランカに同社の製造技術を移転することで、眼科医療機器産業の発展に貢献し、詳細な眼底検査を可能とすることで、目の病気の早期発見・予防を目指します。

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及び ODA

事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2015年度分は昨年9月に公示を行いました。40件の応募のうち17件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2015年度公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001pm6r5-att/fs_20150904_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 安井 (案件担当)、橋本 (広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp